

看護研究相談 Q&A

Q 看護研究相談ではどのような相談にのってもらえるのですか。

A 本看護研究相談・支援事業では、相談の段階を①テーマの決定、②研究計画の作成、③データの収集・分析、④考察・まとめ、⑤発表の5段階としています。
「研究テーマが絞れない」、「研究計画書の作り方がわからない」、「研究テーマに沿ったデータ収集の方法がわからない」、「データの分析方法がわからない」、「同じようなテーマで先行研究があるのだろうかうまく探せない」、「文献検索の方法がわからない」、「考察の視点やまとめ方の方法が分からなく悩んでいる」、「こんな発表の仕方であっていただろうか不安である」など、看護研究を行っていくうえでの疑問点やどうしたら良いか悩んでいることに対し、アドバイスができればと考えています。

Q 研究のテーマが決まっていますが、相談にのってもらえますか。

A 研究のテーマの設定は看護研究を進める第一歩です。皆さんが看護実践を行っていく中で、どのようなことを課題として捉え、それに対してどのような観点からアプローチして研究を進めたいかについては、皆さんがご自分で考えることです。
とは言え、看護実践において抱いた問題意識をどう整理し、研究へと進めていくのか、といったような相談はお受けします。

Q 研究計画書ができていませんが、相談にのってもらえますか。

A 皆さんの相談に適切にお応えするうえでも、研究計画書の添付をお願いします。ただし、相談の申し込みの段階では記入が難しい事項もあると思いますので、書けるところまでの記載でも構いません。

Q アンケート調査の方法がわからないのですが、教えてもらえますか。

A アンケートを作るまでの過程（先行研究の調べ方、テーマ設定など）で、陥りやすい問題を一緒に考えます。アンケートを作るコツや図表のまとめ方についても具体的に学べるよう支援します。

Q 研究倫理について教えてもらえますか。

A 倫理的配慮が必要とされる背景、何が倫理的配慮なのかを例をまじえて分かりやすく説明します。

Q 質的研究について教えてもらえますか。

A 質的研究とは何か、質的研究の主な方法について分かりやすく説明します。インタビューの分析について、実際の例を用いて一緒に分析します。

Q 学会抄録や論文のまとめ方、スマートな学会発表のコツを教えてもらえますか。

A 論文の書き方や学会発表に適したパワーポイントの作り方を分かりやすく説明します。

Q 研究の段階ごとに2回の相談とのことですが、それ以上は相談を受けられないのですか。

A 研究の各プロセスについて概ね2回程度の相談としていますが、状況に応じてはそれ以上の回数の相談をお受けする場合があります。
ただし、各プロセスにおける相談内容を絞ることも、今後これから看護研究を進めるうえで大切なことだと思います。

Q 看護研究相談を申し込んだ後、どのくらいで相談にのってもらえますか。

A 看護研究相談の申込書を受け取ってから、学内で担当教員を選定することとなります。選定後に担当教員をお伝えし、その後日程調整をさせていただきます。
したがって、日程調整がうまくいけば、お申込みいただいてから2週間程度後には第1回の相談が行えると思います。

Q 文献検索を大学で行うことはできますか。

A 大学付属図書館を利用することで文献検索を行うことができます。

Q 相談には毎回大学に行かなければなりませんか。

A 原則として本学に来ていただくこととなります。なお、メールでのやり取りや、条件がそろえば、ICTを利用した双方向通信での指導が可能な場合があります。指導教員にご相談ください。

Q 共同研究とは何ですか。

A 小規模病院等の看護職の方と本学の教員が、看護実践における諸課題について研究計画の段階から共同して、立案・実施・論文作成を目指して研究を行うものです。共同研究における研究の成果については、原則として論文作成や学会発表を行うこととしています。

Q 研究テーマはどのようにして決まるのですか。

A 共同研究申込書にあるように、希望する共同研究名を記載し、その理由を記載するようになっています。共同研究を希望する研究テーマの概略がほぼ決まっていれば、それをお書きください。その概略を基に教員と打ち合わせを行い、最終的な研究テーマを決定していきたいと考えています。

Q 研究のテーマが決まっていますが、共同研究の対象となりますか。

A もちろん研究のテーマが決まっているものでも共同研究の対象になります。研究方法等の詳細はその共同研究を担当する教員と打ち合わせしてください。ただし、研究のテーマによっては適切な教員を充てることが出来ない場合もありますのでご了承ください。

Q 共同研究を行う際、アンケートなどで費用がかかりますが、その費用はどうなりますか。

A 研究には様々な費用がかかるものです。共同研究にかかる費用については、共同研究者同士で負担してください。

Q 共同研究の成果は論文にまとめたり、学会発表をしなければなりませんか。

A 本共同研究では、より質の高い看護研究を目指しています。そのため、論文にまとめたり、学会発表を行うこととしています。論文等に仕上げることや学会で発表することは自信につながり、これからの看護研究のやる気の喚起ともなりますので、負担とは思わないで共同研究を進めてください。